

今年も残りわずかとなり、忙しさを感じる頃になりました。生徒会選挙も無事終了し、生徒会活動も3年生から2年生にバトンタッチがされました。少しずつ日常が取り戻しつつある中、体調に注意して2学期を締めくってほしいと思います。

図書館では、冬休みに向けての「特別貸出」を行います。ぜひ利用してください。



～冬休み特別貸出～



・12/14(火)～12/24(金)までの期間は冊数が**4冊**になります！

・期間内に借りた本は**3学期1/11(火)**に**必ず返却**をお願いします。

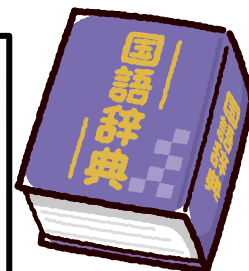
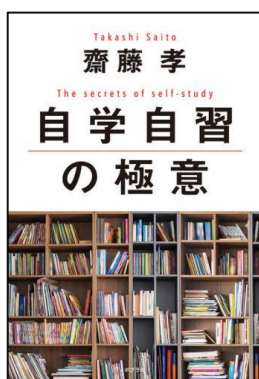
・次に借りる方のためにも2学期中に読み終えたものは返却しましょう。

・4冊以上借りたい方は要相談で・・・



こまめに新刊本を入荷しています。来館をしてチェックしてみてください！

新刊本



「自学自習の極意」著・齋藤 孝

集団での学習が困難になったことや、時間に余裕ができたことでスポットライトを浴びた自宅学習。「一人での深い学び」で人生を豊かにする教養が身につく。学びを高める26の方法。

「比べて楽しい国語辞書ディープな読み方」

国語辞書ほど面白い遊び道具はない！「なぜ、Aの辞書にある言葉がBの辞書にない？」「昔は載っていたあの言葉はなぜ消えてしまった？」など国語辞書を比較しながら読むことで見えてくる、辞書と日本語の面白さ、奥深さを紹介！広辞苑・大辞林・大辞泉はどこが、どれほど違うのか？1,000種を探求したマニアの知的案内本。

新刊本

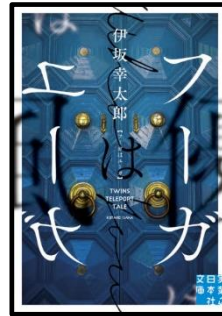


あれ



「フーガはユーガ」著・伊坂 幸太郎

常盤優我は仙台市内のファミレスで一人の男に語り出す。双子の弟・風我のことで、幸せでなかった子供時代のこと、そして、彼ら兄弟だけの、誕生日にだけ起きる不思議な現象、「アレ」のこと。ふたりは大切な人々と出会い、特別な能力を武器に、邪悪な存在に立ち向かおうとするが…。



「どうかこの声が、あなたに届きますように」

著・浅葉 なつ

とある事情から地下アイドルを辞め、マスクを手放せなくなっていた奈々子は、ある日ラジオ局のディレクター黒木から、番組アシスタントにスカウトされる。絶望を抱える中学生、子どものいない夫婦、切実な日々を生きるリスナーに、奈々子の声は響くだろうか。

「ぼくはイエローでホワイトで、
ちょっとブルー」

著・ブレイディみかこ

中学生の「ぼく」の日常は、今も世界の縮図のよう。授業でのスタートアップ実習、ノンバイナリーの教員たち、音楽部でのポリコレ騒動、ずっと助け合ってきた隣人との別れ、そして母の国での祖父母との旅——“事件”続きの暮らしの中で、少年は大人へのらせん階段を昇っていく。80万人が読んだ「親子の成長物語」、ついに完結。

「時守たちのラストダンス」

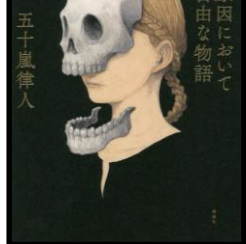
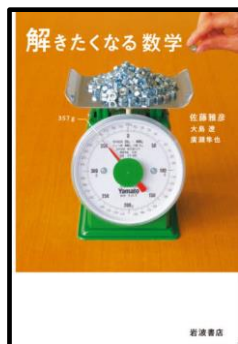
原作・東堂いづみ 著・三萩せんや

高知から上京してきた高校1年の小湊伊純。推薦で陸上部に入部したもののどこかしっくり来ていなかった彼女が、同級生たちと組んだダンスユニットの力で異変の頻発する世界に立ち向かう青春ファンタジー。



「解きたくなる数学」著・佐藤雅彦

数学の本なのに、出てくるのはおいしそうなケーキやチーズやチョコレートの写真。でも、それらを使って身につくのは、論理の組み立て+抽象化+新しい考え方の枠組み+思考のジャンプ。さあ、佐藤雅彦研究室の選り抜きの23問！解きたくなる数学がここに 있습니다。



「原因において自由な物語」

著・五十嵐律人

人気作家・二階堂紡季には、誰にも言えない秘密があった。露呈すれば、すべてを失う。しかし、その秘密と引き換えにしても、書かねばならない物語に出会ってしまい…

保護者の方へ

本校図書館では保護者への貸し出しも実施しております。お子さんを通して利用出来ますお声かけください。三者懇談中も開放しておりますのでお立ち寄りください

